

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。
 - ・当該学年で習得すべき漢字を読み書きできる。(自校テストで平均点を8割以上にする。)
- 思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・算数科において思考力・判断力・表現力の向上を図る。(自校テストで平均点を8割以上にする。)
- 主体的に学習に取り組む態度を涵養する。
 - ・さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な割合を令和2年度の値より2pt向上させる。

具体的な手立て

- ①タブレット端末やデジタル教科書等のICTを効果的に活用した学習活動を行う。
- ②学習課題の明示と、課題に対する答え・振り返りを位置付けた授業を展開する。
- ③児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を実施する。
- ④算数タイムにおいて、タブレット端末を活用した知識・技能の習得の時間を年間24回以上実施する。
- ⑤T・Tの指導体制を充実させ、児童一人ひとりに応じた支援と学習内容の定着を図る。
- ⑥タブレット端末を活用し、児童同士の考えを比較・関連できる活動を位置づける。

結果

タブレット端末を効果的に活用した学習活動や習得に向けた時間の確保により、児童一人ひとりに応じた支援や学習内容の定着を図ることができ、基礎的・基本的な知識・技能や主体的に学習に取り組む態度については、目標値を達成できた。しかし、思考力・判断力・表現力の向上については目標値に届かず、次年度へ向けて改善していく必要がある。

今年度の振り返り・次年度に向けて

- ・よい授業に基づいた授業づくりを継続し、「振り返りの時間」や「既習内容の確認」、学期末での学力向上タイムの設定等により、基礎学力の向上を図っていく。
- ・学校課題研修として進めている「タブレット端末を活用した授業」を来年度も推進するとともに、算数科を重点に置いてさらに研究を深め、新しい時代に対応した授業を実践していく。
- ・児童一人ひとりに応じた学習活動や支援を位置づけることで、主体的に学習を進められたり学びを深めたりすることができるようにする。